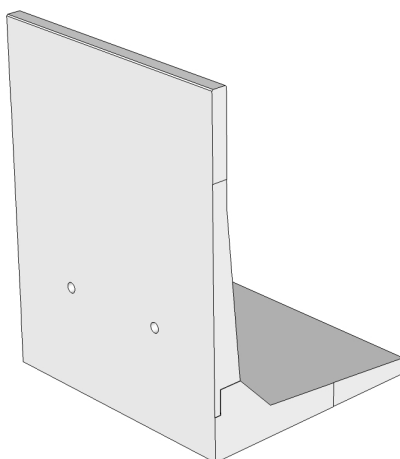




KLウォール

製品CADデータ



タイプ	積載荷重 kN/m ²	設計水平震度 kh	土の内部摩擦角 度	摘要
3型E2タイプ	10	0.25	別表	
	10	0.25	$25^{\circ} \leq \phi < 30^{\circ}$	
	10	0.25	$\phi \geq 30^{\circ}$	※
	15	0.25	$\phi \geq 30^{\circ}$	※

- ・国土交通大臣を取得しているプレキャストL型擁壁
- ・中地震(設計水平震度0.20)および大地震(設計水平震度0.25)に対応
- ・製品高さは25cm毎対応(H1000～3000)
- ・別表の設計条件は、宅地造成等規制法施行令 別表二・三を参考

※データが必要な場合は、お近くの担当営業へご依頼ください



松阪興産株式会社

2026.8版



プレキャストL型擁壁構造図

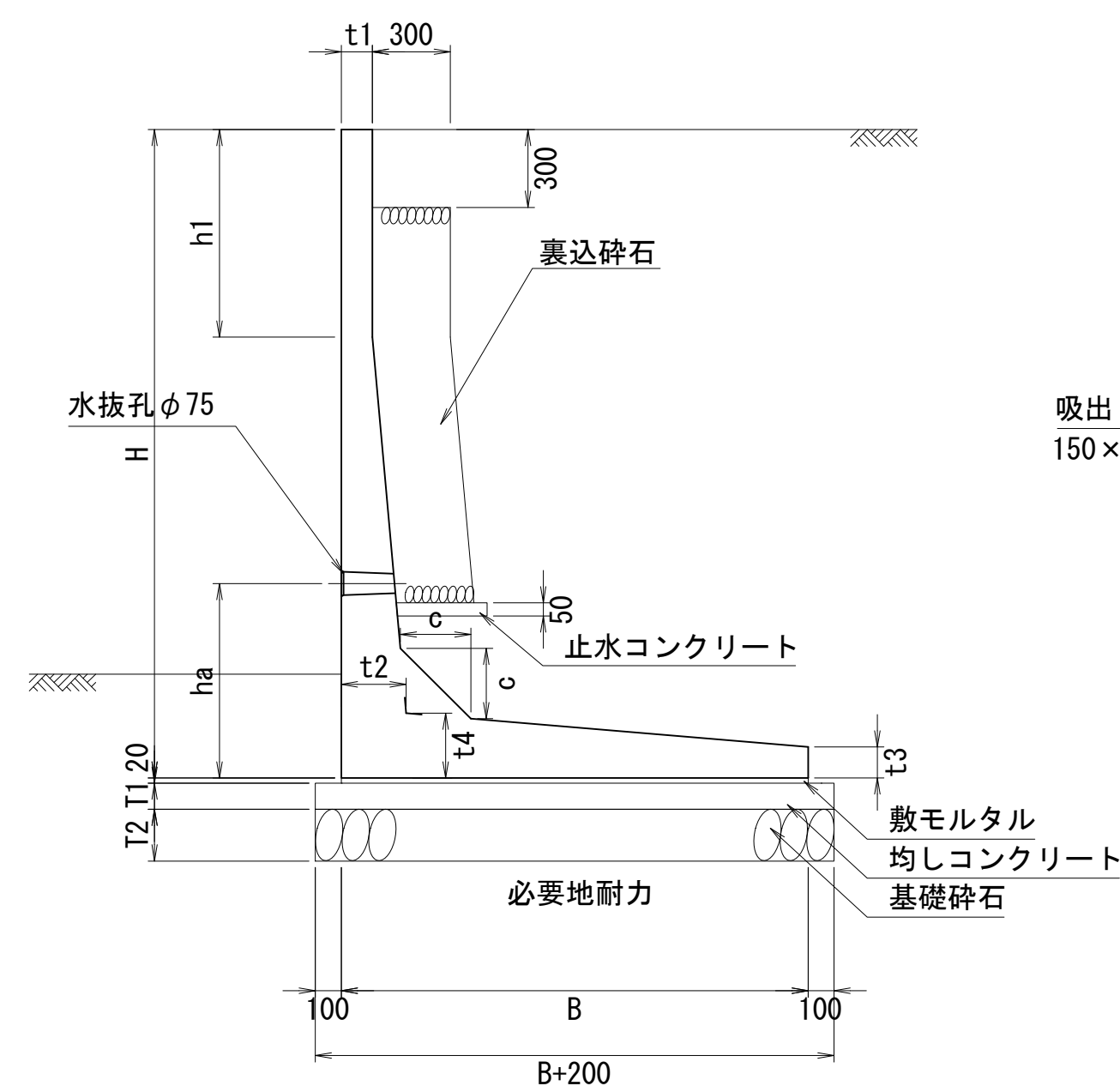
A1 S=1:25

A3 S=1:50

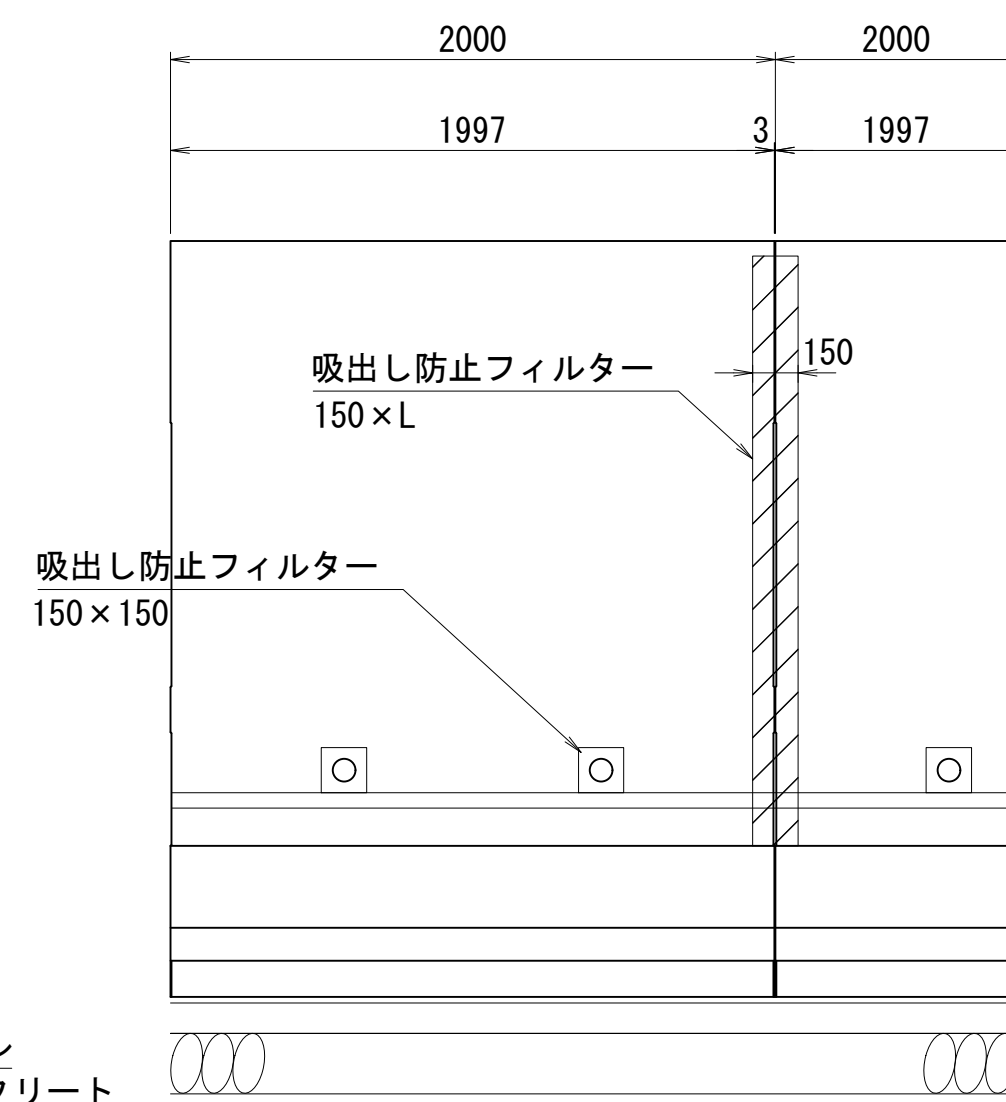
KLウォール3型Eタイプ

大臣認定擁壁

断面図



背面図



E2タイプ 寸法表

適用	各部寸法(mm)										寸法(mm)		参考重量 (kg)	必要地耐力 (kN/m2)
	H	B	t1	t2	t3	t4	c	h1	b1	ha	T1	T2		
	1000	750	120	120	110	110	110	0	0	550	100	200	940	60
	1250	900	120	120	110	120	110	0	0	750	100	200	1180	70
	1500	1050	120	130	110	130	110	800	0	750	100	200	1440	80
	1750	1250	120	140	110	140	110	800	0	750	100	200	1750	90
	2000	1450	120	165	110	165	150	800	0	750	100	200	2200	95
	2250	1650	120	205	120	205	200	800	0	750	100	200	2850	100
	2500	1800	120	250	120	250	250	800	0	750	100	200	3570	115
	2750	1950	120	330	130	270	200	800	0	750	100	200	4350	125
	3000	2100	120	390	130	310	200	800	0	750	100	200	5250	135

- ・標準部の擁壁長さはL=1997mmとし、L=1000mmまで縮小（短尺）することができる。
- ・据付時の伸びは3mm見込む。
- ・セットバック距離は、たて壁のたわみ量（計算上最大5mm程度）を考慮すること。

設計条件(土質試験により実状を確認しない場合)

上載荷重	Q=10.0kN/m ²
背面土の土質	砂利または砂
土の内部摩擦角	30° (φ≧28.8°)
土の単位体積重量	γ _s =18.0kN/m ³
基礎地盤の土質	岩、岩層、砂利、砂
底面摩擦係数	μ=0.5
コンクリートの単位体積重量	γ _c =24.0kN/m ³
コンクリートの設計基準強度	σ _{ck} =30N/mm ²
使用鉄筋	SD295
設計水平震度 (中規模地震時)	0.20
設計水平震度 (大規模地震時)	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

使用材料

敷モルタル	1 : 3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎砕石	RC40-0
裏込砕石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込砕石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m²に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

A1 S=1:25
A3 S=1:50

水抜孔φ75

吸出し防止フィルター

120 300

裏込砕石

1000

350以上

300

300

止水コンクリート

110

敷モルタル

均しコンクリート

基礎砕石

必要地耐力
60kN/m²以上

100 750 100

950

[illegible][illegible]

Technical drawing of a water intake structure cross-section. The structure is 1450mm wide and 1750mm high. It features a water intake hole (水抜孔) with a diameter of 75mm and a filter (吸出し防止フィルター). The structure is made of concrete (止水コンクリート) and has a base of concrete (基礎砕石) with a required bearing capacity of 90kN/m² or more. The drawing includes dimensions for various parts: 120mm, 300mm, 300mm, 850mm, 50mm, 110mm, 200mm, 20mm, 100mm, 100mm, 1250mm, 100mm, 1450mm, and 1750mm. Labels include '裏込砕石' (Backfill gravel), '必要地耐力 90kN/m²以上' (Required ground bearing capacity 90kN/m² or more), '敷モルタル 均しコンクリート' (Applied mortar leveling concrete), and '基礎砕石' (Foundation gravel).

上載荷重	Q=10.0kN/m2
背面土の土質	砂利または砂
土の内部摩擦角	30°（φ≧28.8°）
土の単位体積重量	γs=18.0kN/m3
基礎地盤の土質	岩、岩屑、砂利、砂
底面摩擦係数	μ=0.5
コンクリートの単位体積重量	γc=24.0kN/m3
コンクリートの設計基準強度	σck=30N/mm2
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上

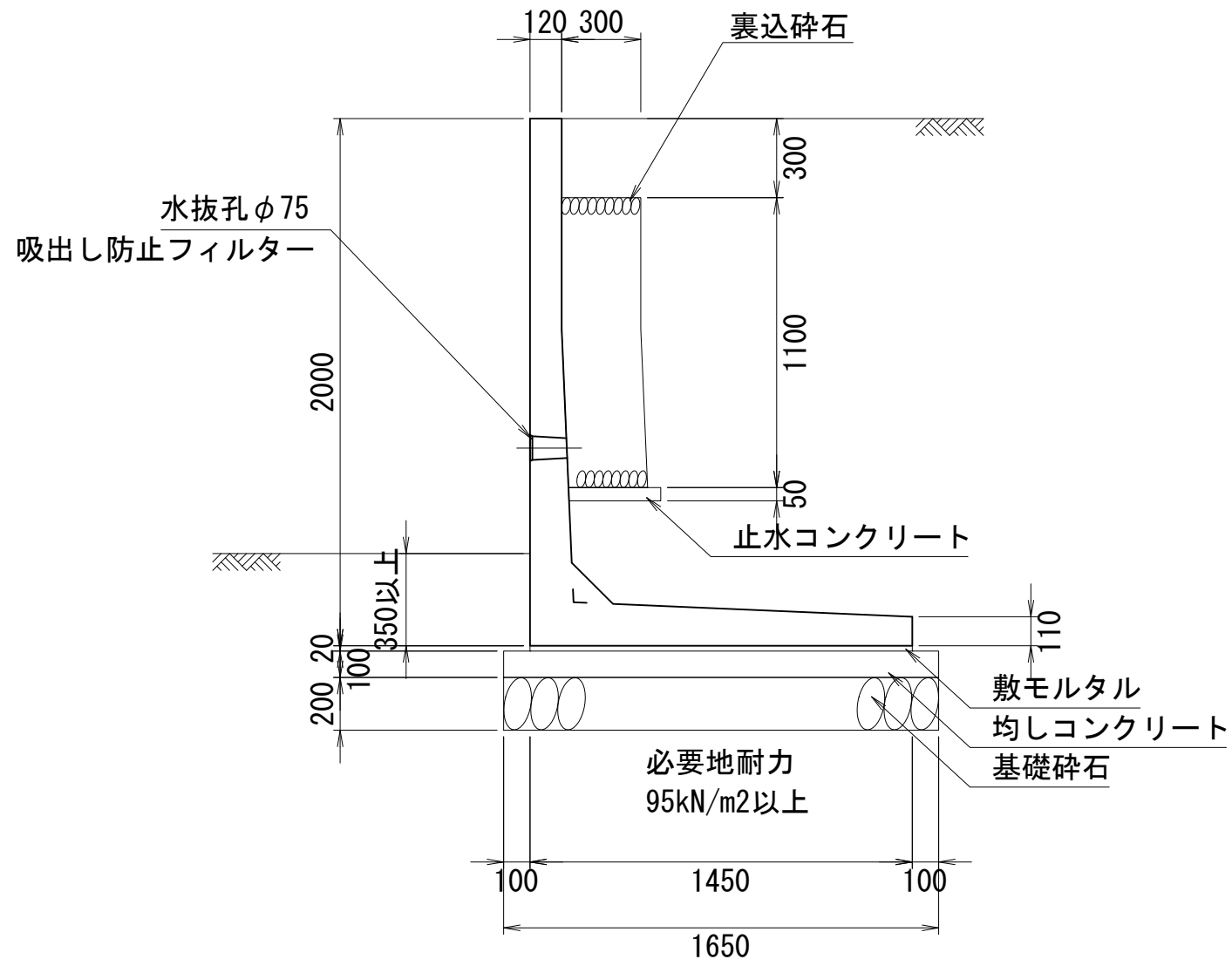
敷モルタル	1 : 3
均しコンクリート	18N/mm ²
基礎砕石	RC40-0
裏込砕石	RC40-0 or C40-0

- 設けること。

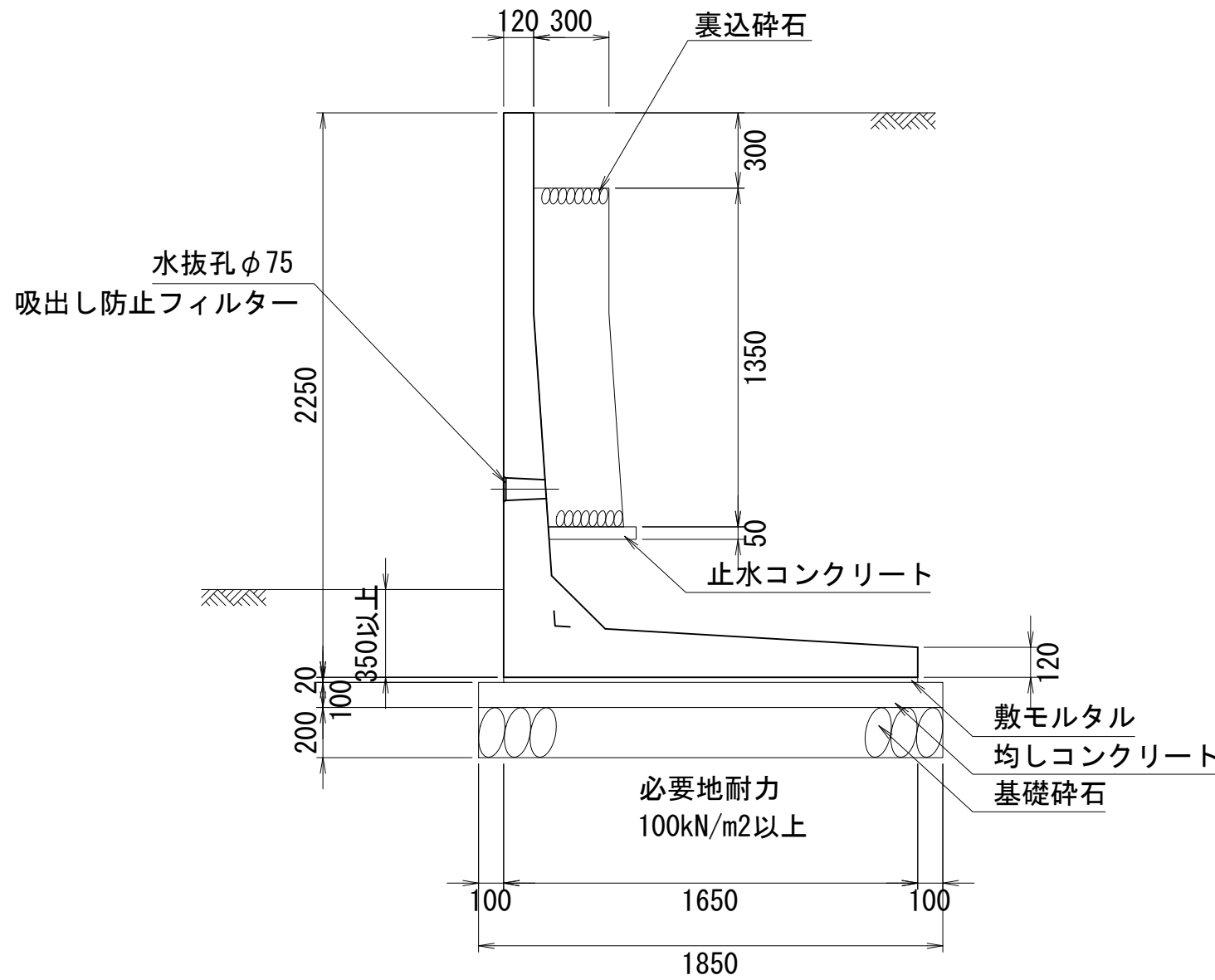
A1 S=1:25
A3 S=1:50

A3 S=1:50

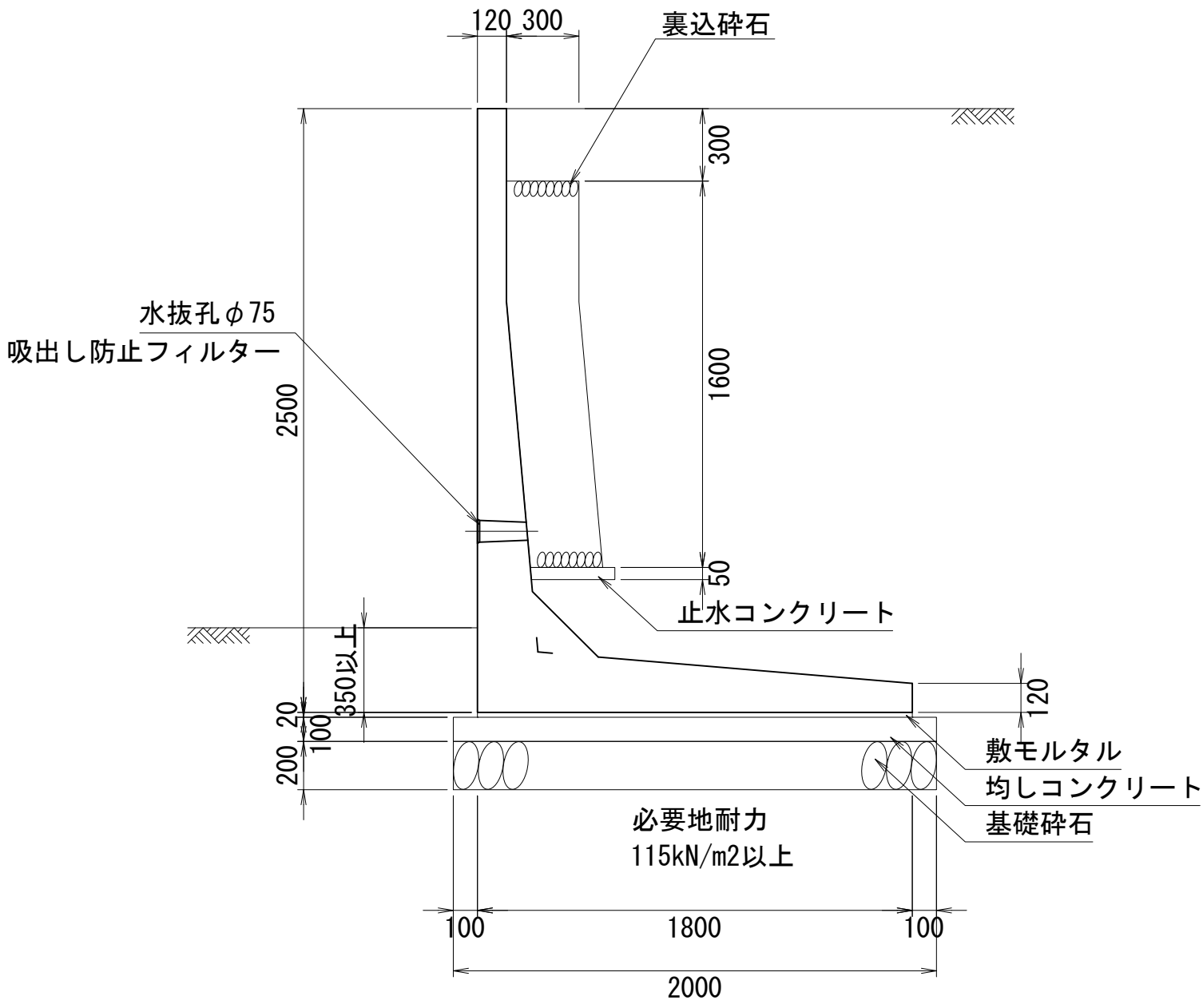
KLウォール3型E2



KLウォール3型E2



KLウォール3型E2



設計条件(土質試験により実状を確認しない場合)

上載荷重	$Q=10.0\text{ kN/m}^2$
背面土の土質	砂利または砂
土の内部摩擦角	30° ($\phi \geq 28.8^\circ$)
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.0\text{ kN/m}^3$
基礎地盤の土質	岩、岩屑、砂利、砂
底面摩擦係数	$\mu=0.5$
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.0\text{ kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=30\text{ N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	35 cm 以上かつ 擁壁高さの15%以上

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

使用材料

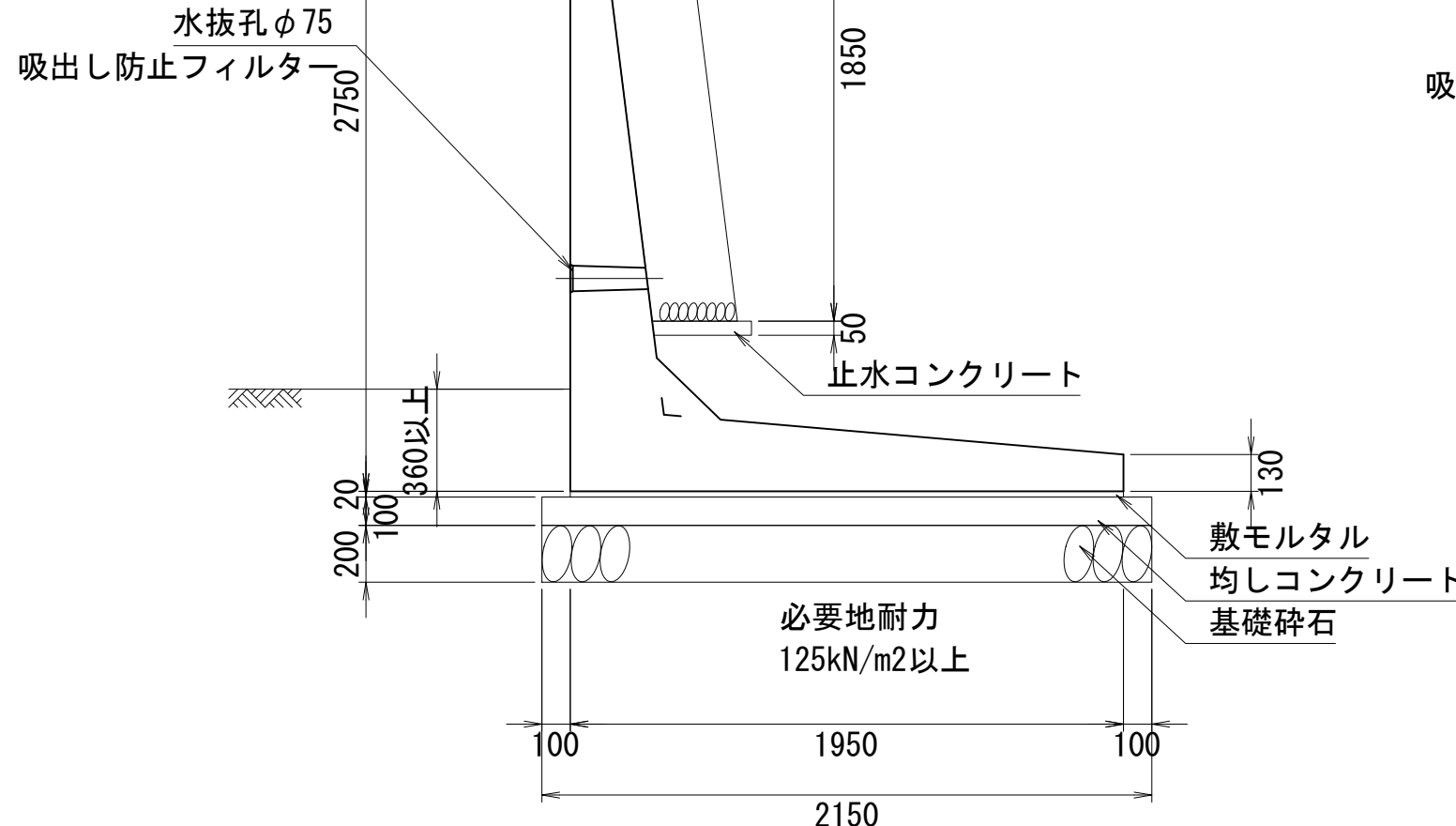
敷モルタル	1 : 3
均しコンクリート	18N/mm ²
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込砕石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

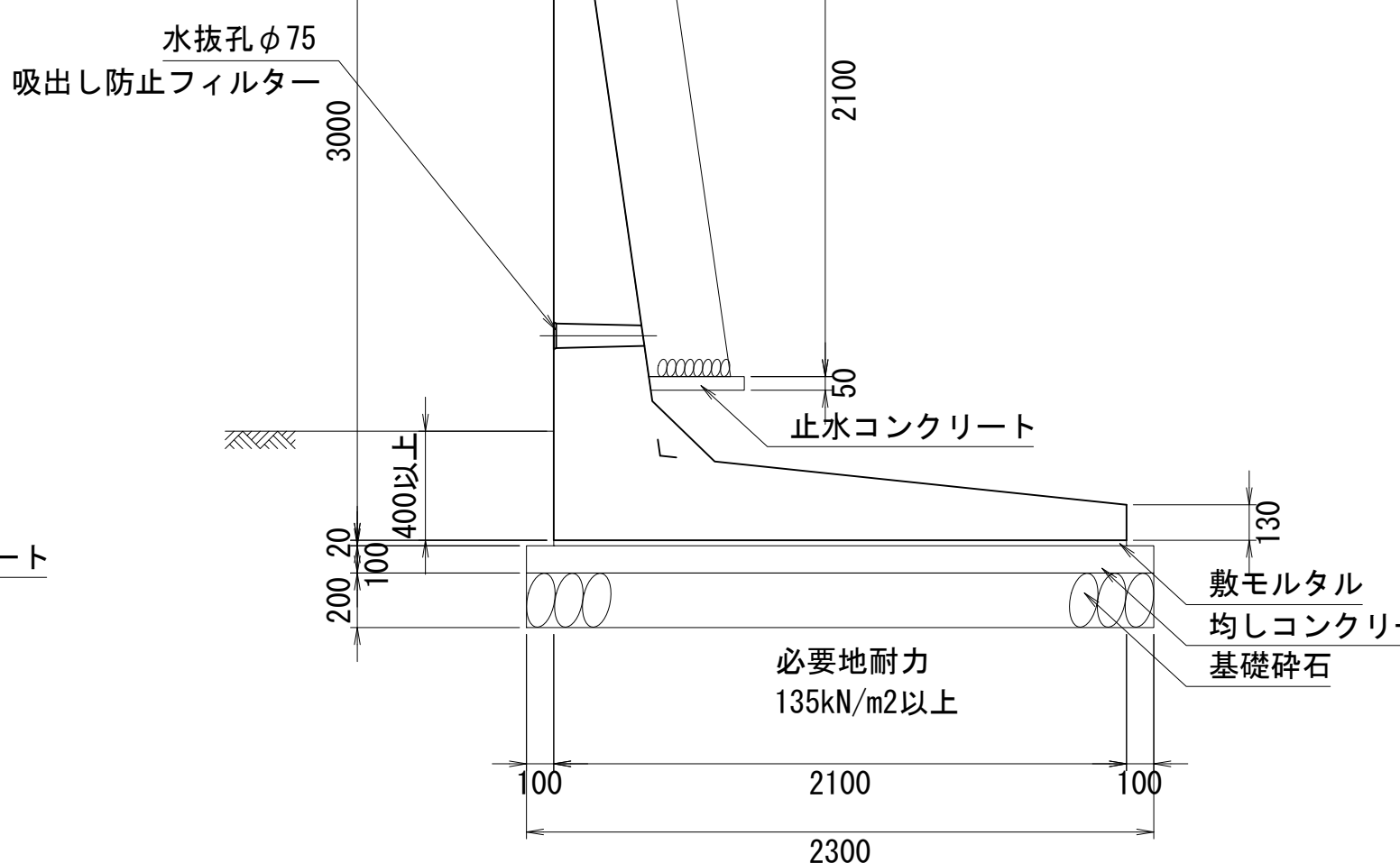
A1 S=1:25
A3 S=1:50

A3 S=1:50

KLウォール3型E2



KLウォール3型E2



設計条件(土質試験により実状を確認しない場合)

上載荷重	$Q=10.0\text{ kN/m}^2$
背面土の土質	砂利または砂
土の内部摩擦角	30° ($\phi \geq 28.8^\circ$)
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.0\text{ kN/m}^3$
基礎地盤の土質	岩、岩屑、砂利、砂
底面摩擦係数	$\mu=0.5$
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.0\text{ kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=30\text{ N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	35 cm 以上かつ 擁壁高さの15%以上

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

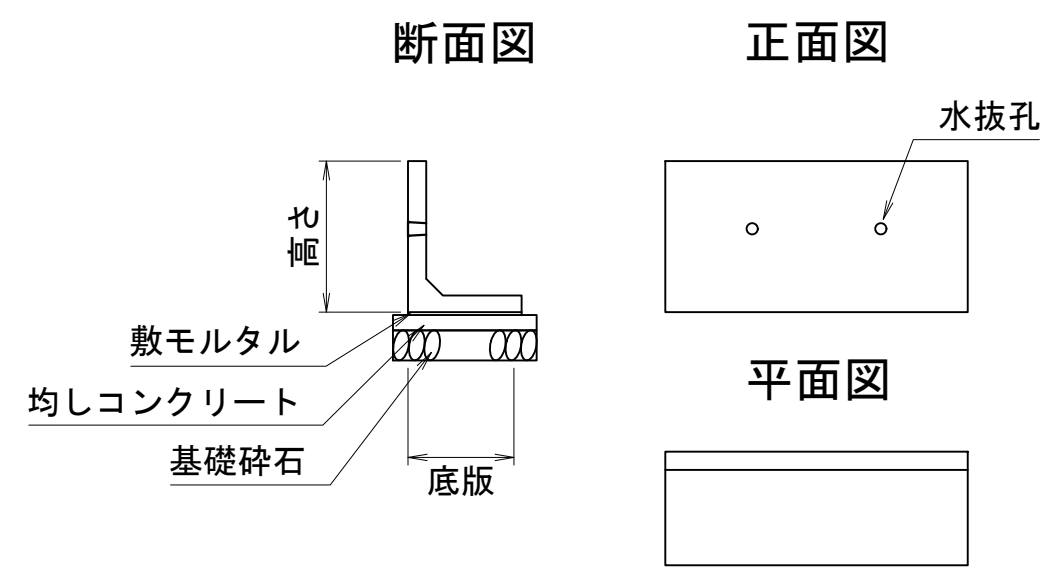
使用材料

敷モルタル	1 : 3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎砕石	RC40-0
裏込砕石	RC40-0 or C40-0

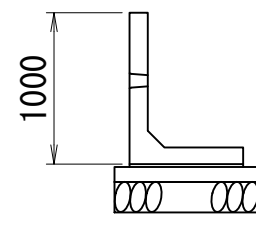
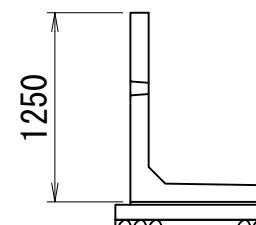
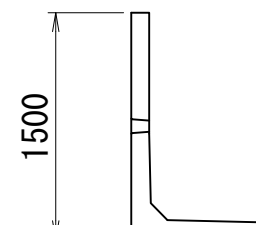
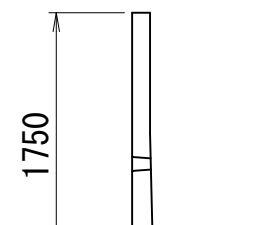
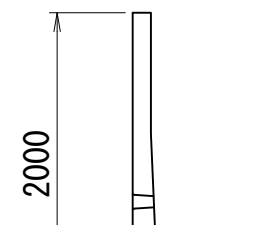
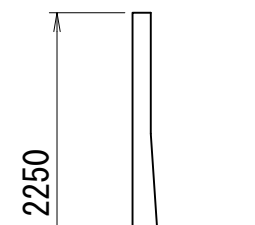
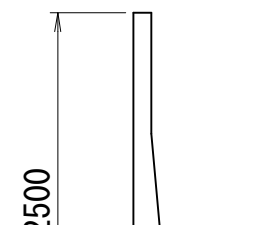
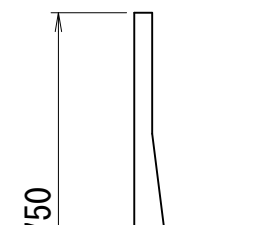
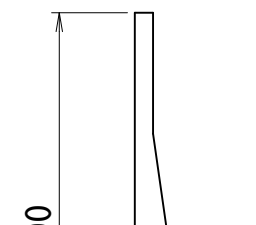
1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込砕石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m²に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

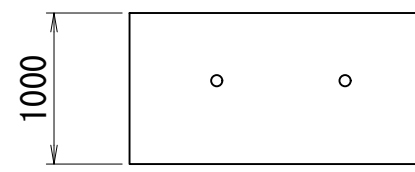
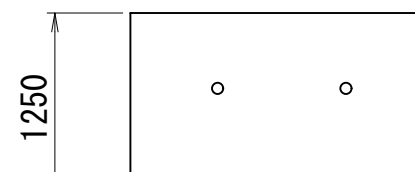
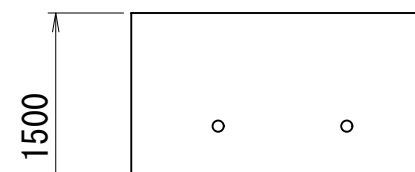
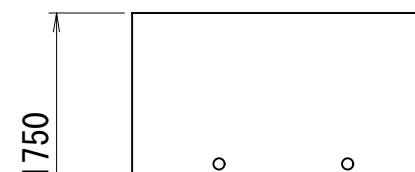
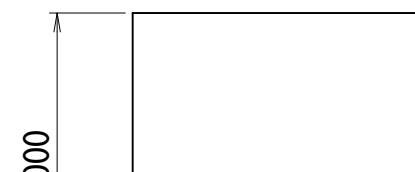
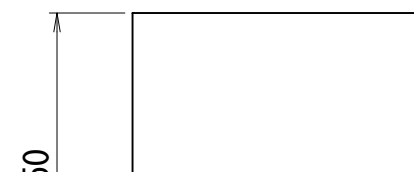
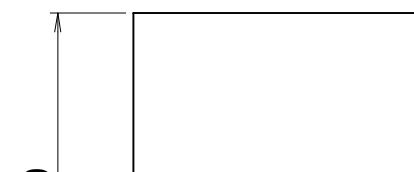
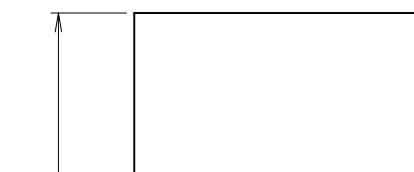
KLウォール3型E2テンプレート

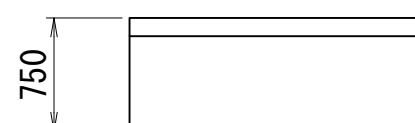
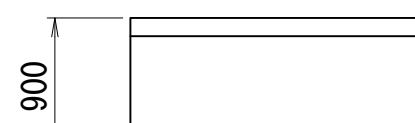
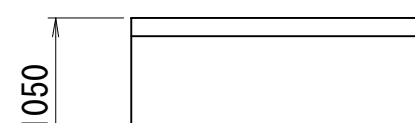
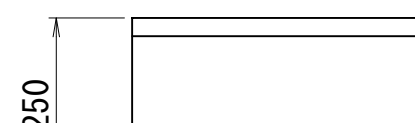
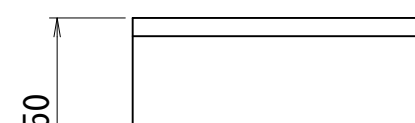
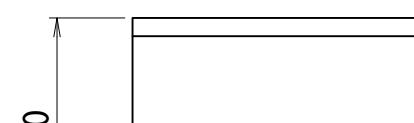
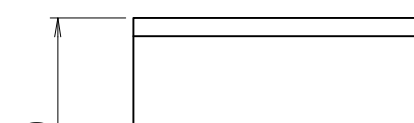
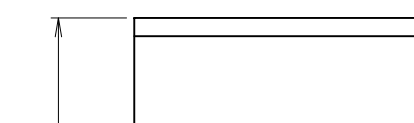
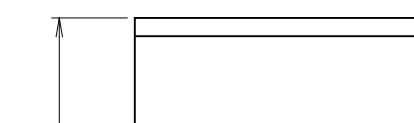
A1 S=1： 50
A3 S=1：100



擁壁前面の根入れ高さ	35 c m以上かつ 擁壁高さの15%以上
------------	--------------------------

KLウォール3型E2 H=1000	KLウォール3型E2 H=1250	KLウォール3型E2 H=1500	KLウォール3型E2 H=1750	KLウォール3型E2 H=2000	KLウォール3型E2 H=2250	KLウォール3型E2 H=2500	KLウォール3型E2 H=2750	KLウォール3型E2 H=3000
								

KLウォール3型E2 H=1000	KLウォール3型E2 H=1250	KLウォール3型E2 H=1500	KLウォール3型E2 H=1750	KLウォール3型E2 H=2000	KLウォール3型E2 H=2250	KLウォール3型E2 H=2500	KLウォール3型E2 H=2750	KLウォール3型E2 H=3000
								

KLウォール3型E2 H=1000	KLウォール3型E2 H=1250	KLウォール3型E2 H=1500	KLウォール3型E2 H=1750	KLウォール3型E2 H=2000	KLウォール3型E2 H=2250	KLウォール3型E2 H=2500	KLウォール3型E2 H=2750	KLウォール3型E2 H=3000
								

プレキャストL型擁壁構造図

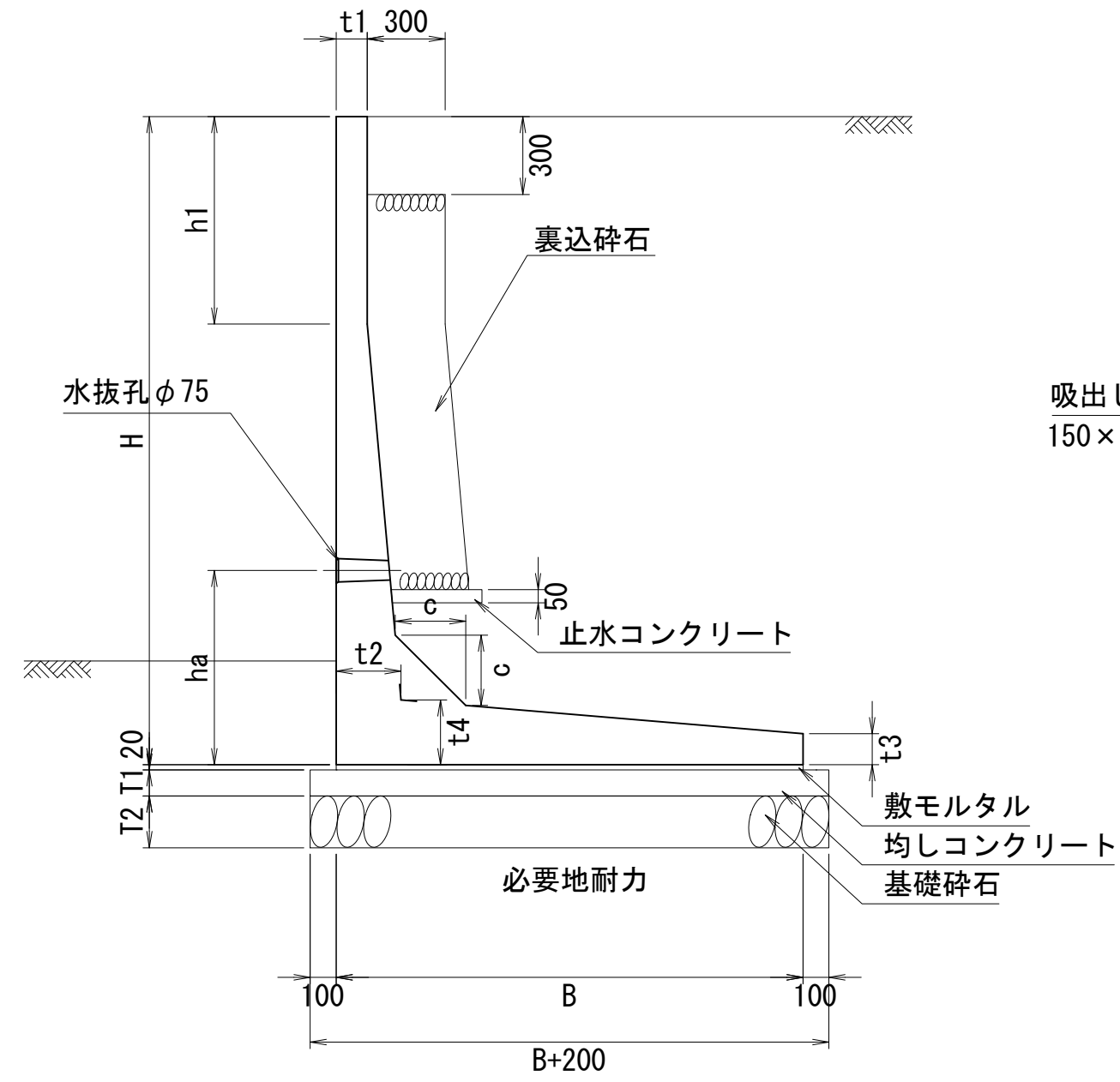
A1 S=1:25

A3 S=1:50

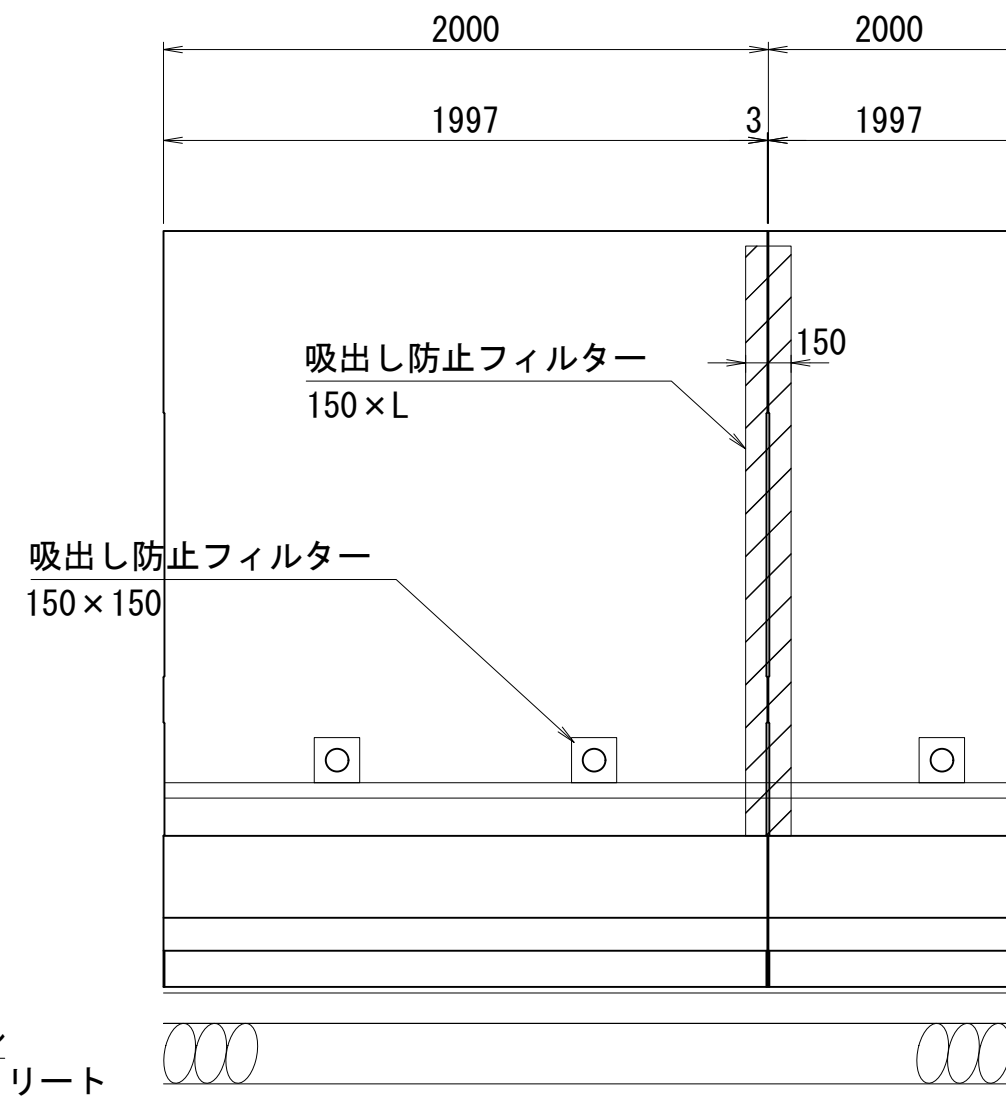
KLウォール3型Eタイプ

大臣認定擁壁

断面図



背面図



E2タイプ 寸法表

適用	各部寸法 (mm)										寸法 (mm)		参考重量 (kg)	必要地耐力 (kN/m ²)
	H	B	t1	t2	t3	t4	c	h1	b1	ha	T1	T2		
	1000	750	120	120	110	110	110	0	0	550	100	200	940	65
	1250	900	120	120	110	120	110	0	0	750	100	200	1180	80
	1500	1050	120	130	110	130	110	800	0	750	100	200	1440	95
	1750	1250	120	140	110	140	110	800	0	750	100	200	1750	100
	2000	1450	120	165	110	165	150	800	0	750	100	200	2200	110
	2250	1650	120	205	120	205	200	800	0	750	100	200	2850	115
	2500	1800	120	250	120	250	250	800	0	750	100	200	3570	125
	2750	1950	120	330	130	270	200	800	0	750	100	200	4350	135
	3000	2100	120	390	130	310	200	800	0	750	100	200	5250	150

- ・標準部の擁壁長さはL=1997mmとし、L=1000mmまで縮小（短尺）することができる。
- ・据付時の伸びは3mm見込む。
- ・セットバック距離は、たて壁のたわみ量（計算上最大5mm程度）を考慮すること。

設計条件(土質試験により実状を確認する場合)

上載荷重	$Q=10.0\text{ kN/m}^2$
土の内部摩擦角	$\phi \geq 25^\circ$
土の単位体積重量	$\gamma_s = 17.0\text{ kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu = 0.466$ $(\mu = \tan \phi : \phi = 25^\circ)$
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c = 24.0\text{ kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck} = 30\text{ N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	45 cm 以上かつ 擁壁高さの20%以上

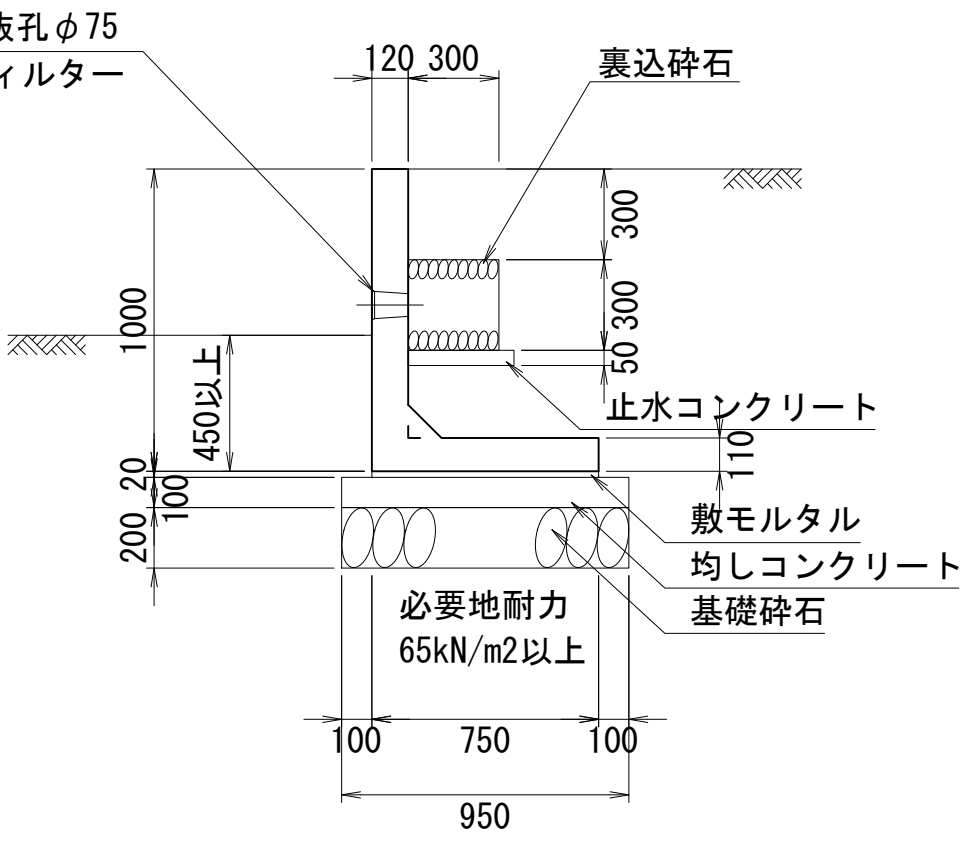
使用材料

敷モルタル	1 : 3
均しコンクリート	18N/mm ²
基礎砕石	RC40-0
裏込砕石	RC40-0 or C40-0

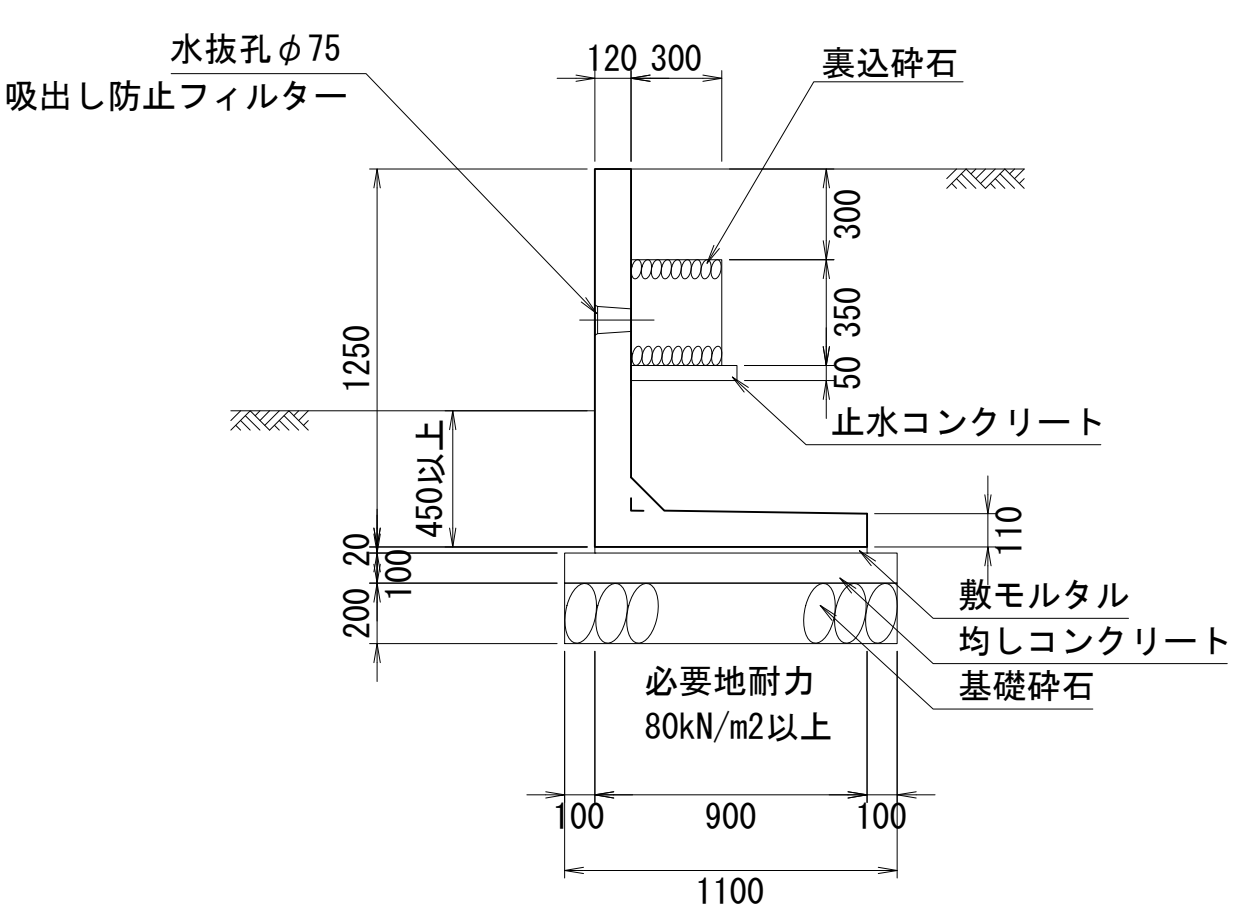
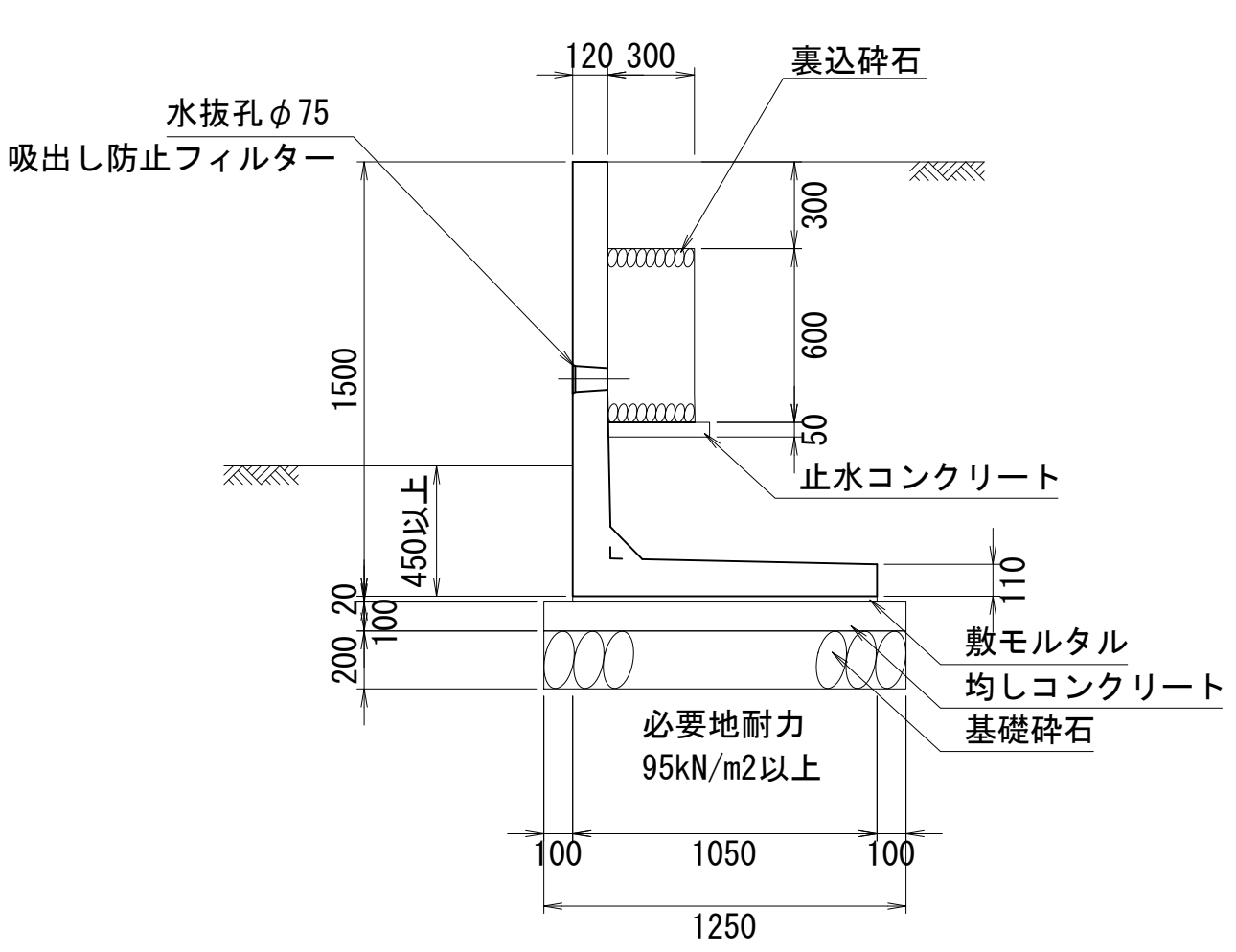
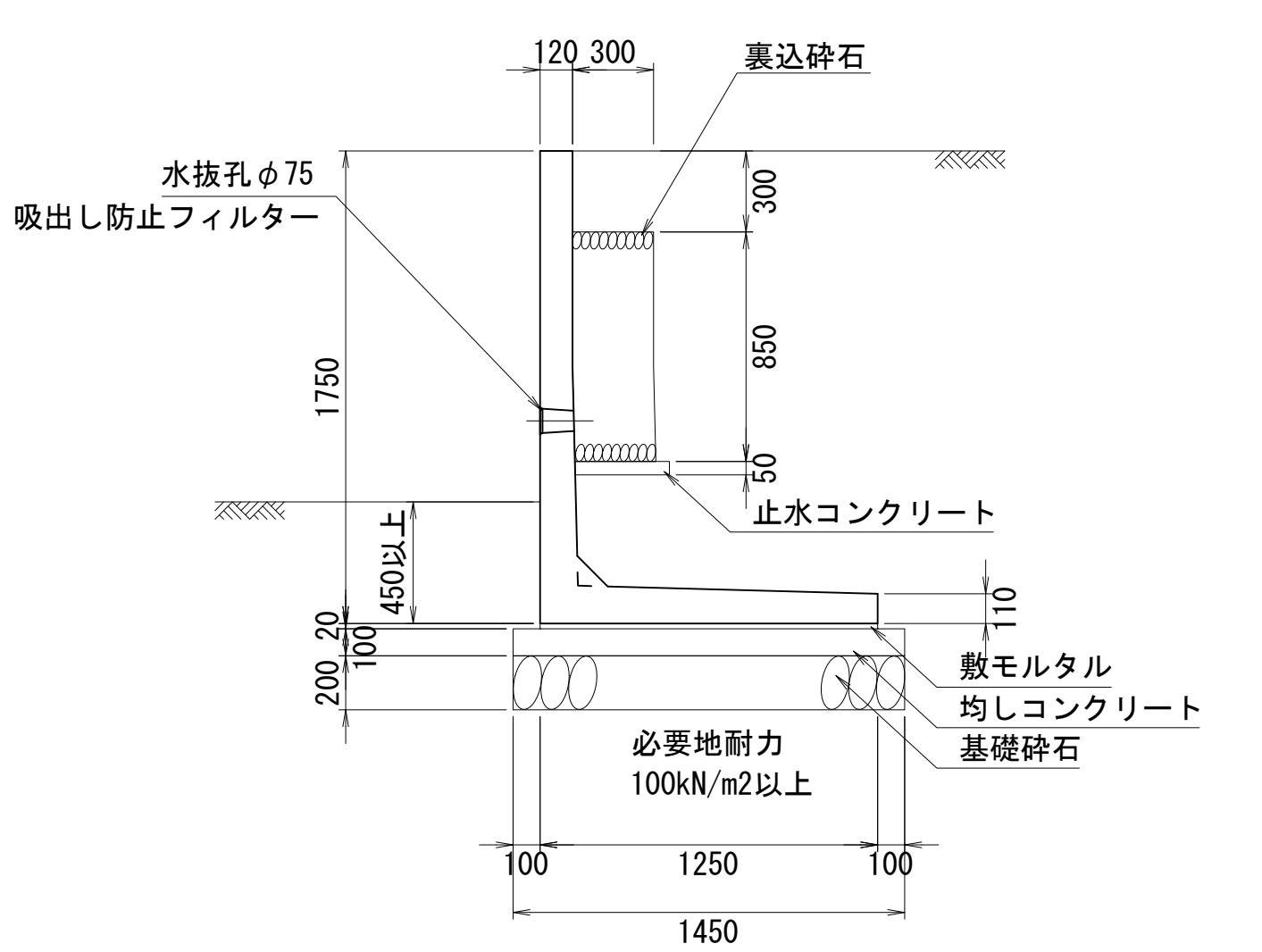
1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込砕石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m²に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

A1 S=1:25
A3 S=1:50

A3 S=1:50

KLウォール3型E2
H=1000

KLウォール3型E2
H=1250

KLウォール3型E2
H=1500KLウォール3型E2
H=1750

設計条件(土質試験により実状を確認する場合)

上載荷重	$Q=10.0\text{ kN/m}^2$
土の内部摩擦角	$\phi \geq 25^\circ$
土の単位体積重量	$\gamma_s=17.0\text{ kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu=0.466$ $(\mu=\tan\phi: \phi=25^\circ)$
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.0\text{ kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=30\text{ N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	45 cm 以上かつ 擁壁高さの20%以上

使用材料

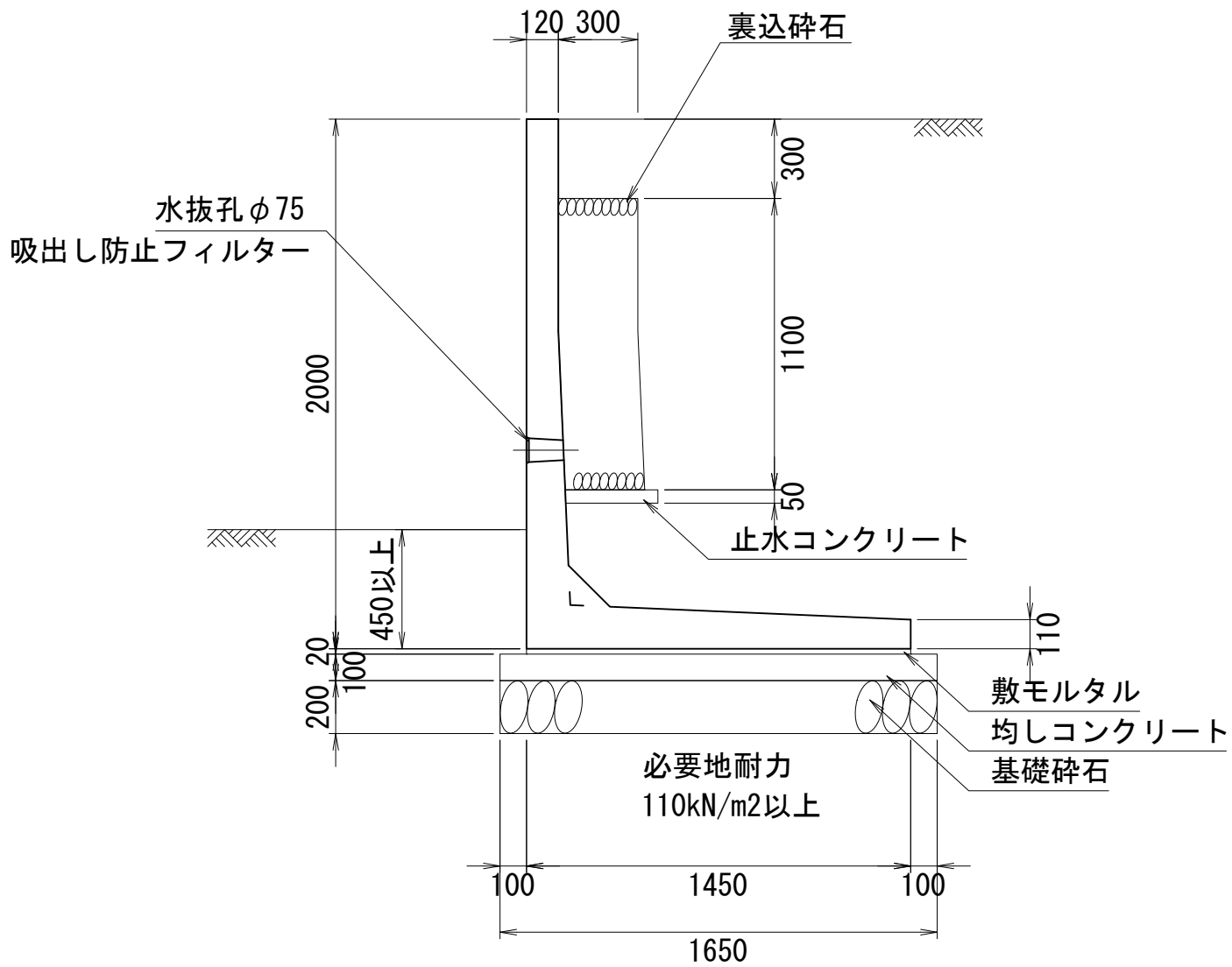
敷モルタル	1 : 3
均しコンクリート	18N/mm ²
基礎砕石	RC40-0
裏込砕石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込砕石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

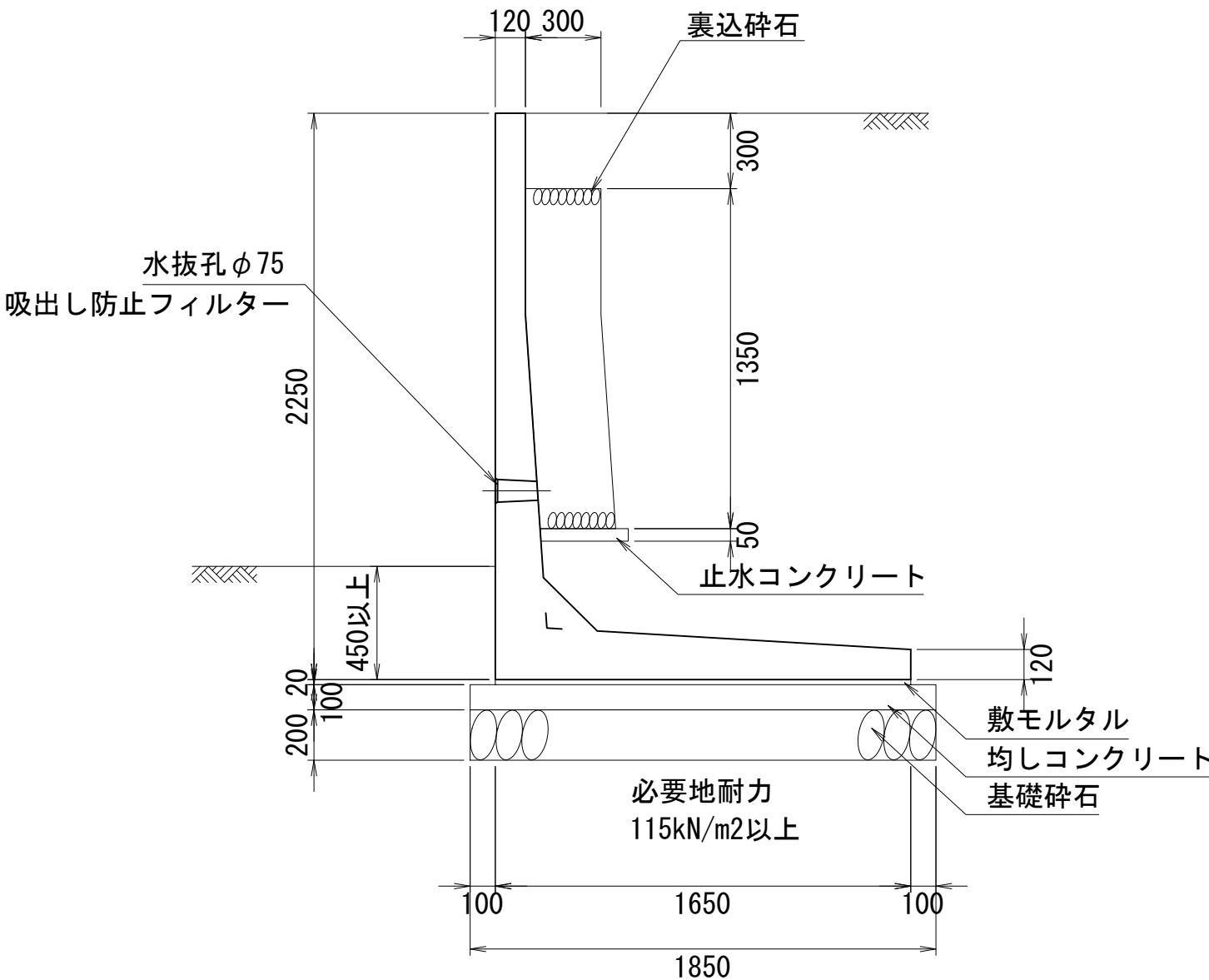
KLウォール3型E2

A1 S=1：25
A3 S=1：50

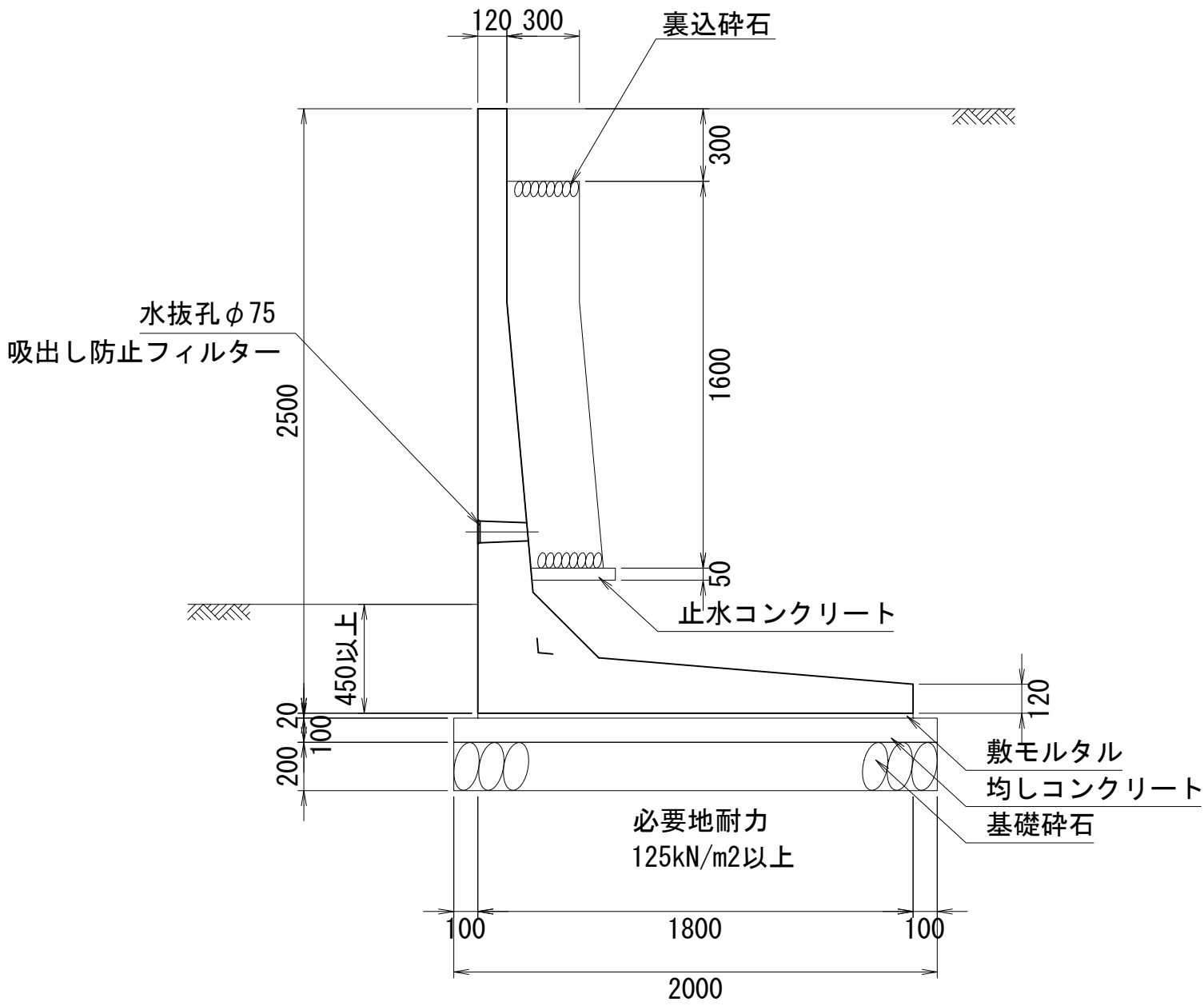
KLウォール3型E2
H=2000



KLウォール3型E2
H=2250



KLウォール3型E2
H=2500



設計条件(土質試験により実状を確認する場合)

上 載 荷 重	Q=10.0kN/m2
土の内部摩擦角	$\phi \geq 25^{\circ}$
土の単位体積重量	$\gamma s=17.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu =0.466$ ($\mu =\tan \phi : \phi =25^{\circ}$)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma ck=30\text{N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	45cm以上かつ 擁壁高さの20%以上

使用材料

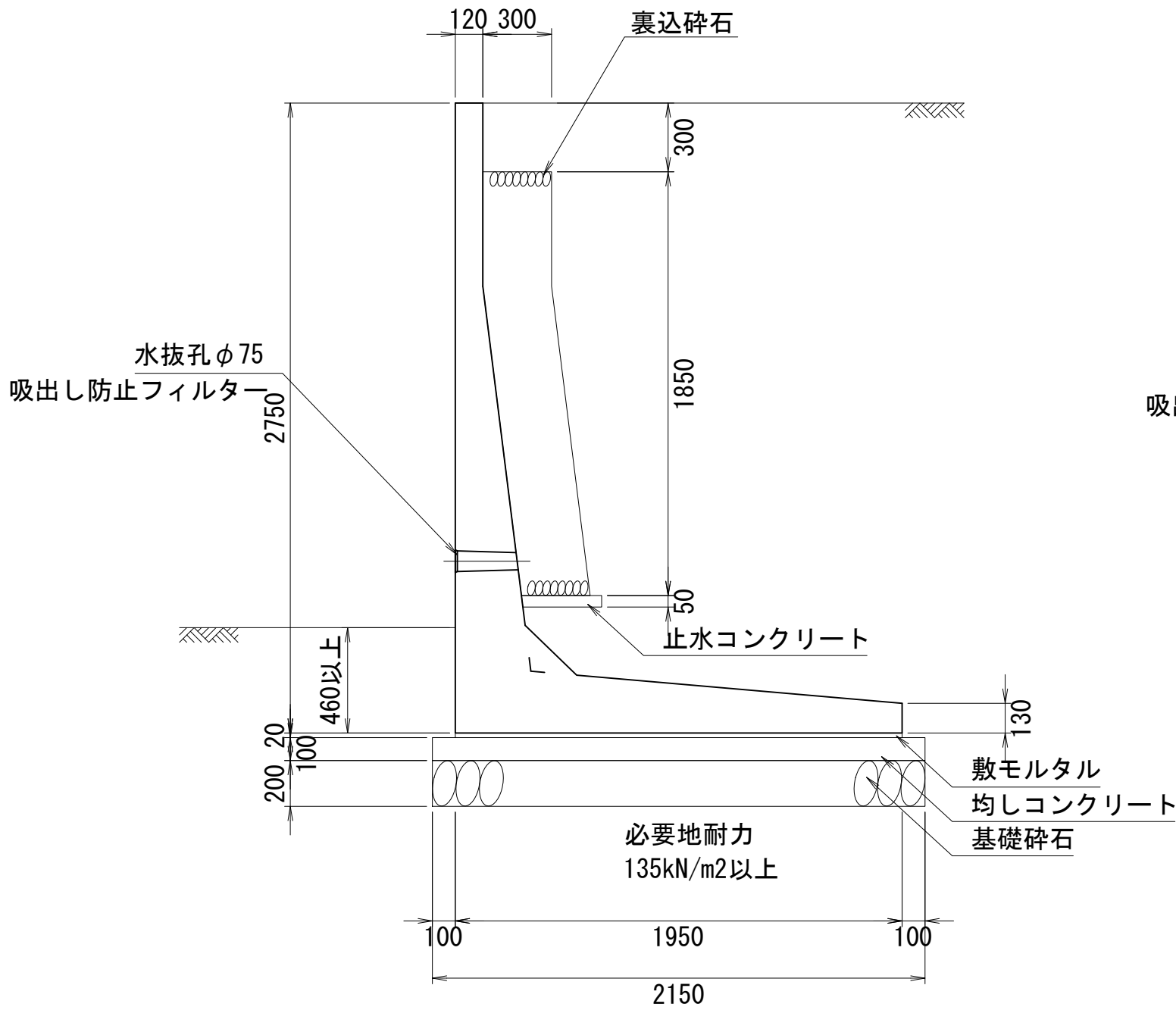
敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

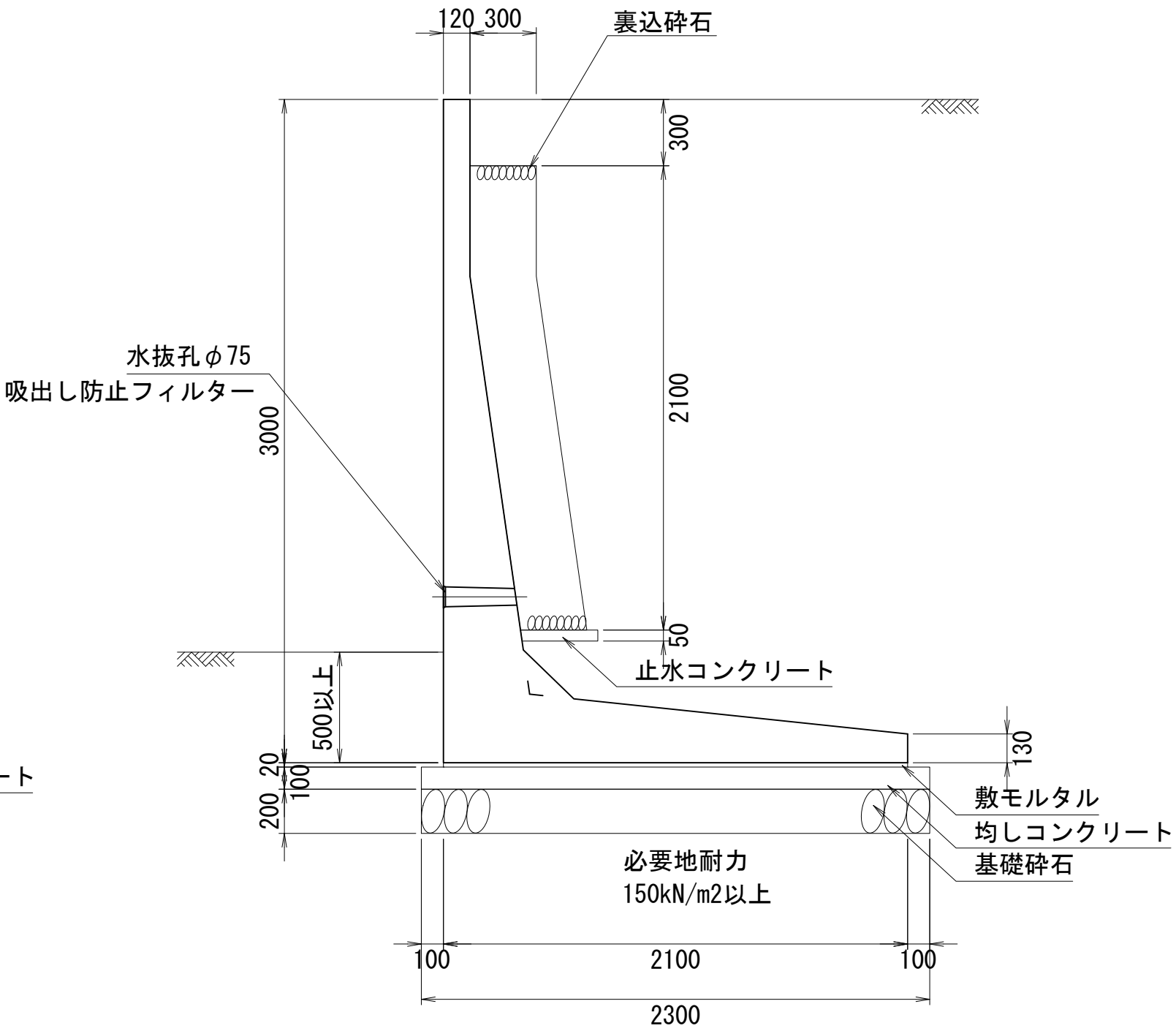
KLウォール3型E2

A1 S=1：25
A3 S=1：50

KLウォール3型E2
H=2750



KLウォール3型E2
H=3000



設計条件(土質試験により実状を確認する場合)

上載荷重	Q=10.0kN/m2
土の内部摩擦角	$\phi \geq 25^\circ$
土の単位体積重量	$\gamma_s = 17.0 \text{ kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu = 0.466$ ($\mu = \tan \phi : \phi = 25^\circ$)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c = 24.0 \text{ kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	45cm以上かつ 擁壁高さの20%以上

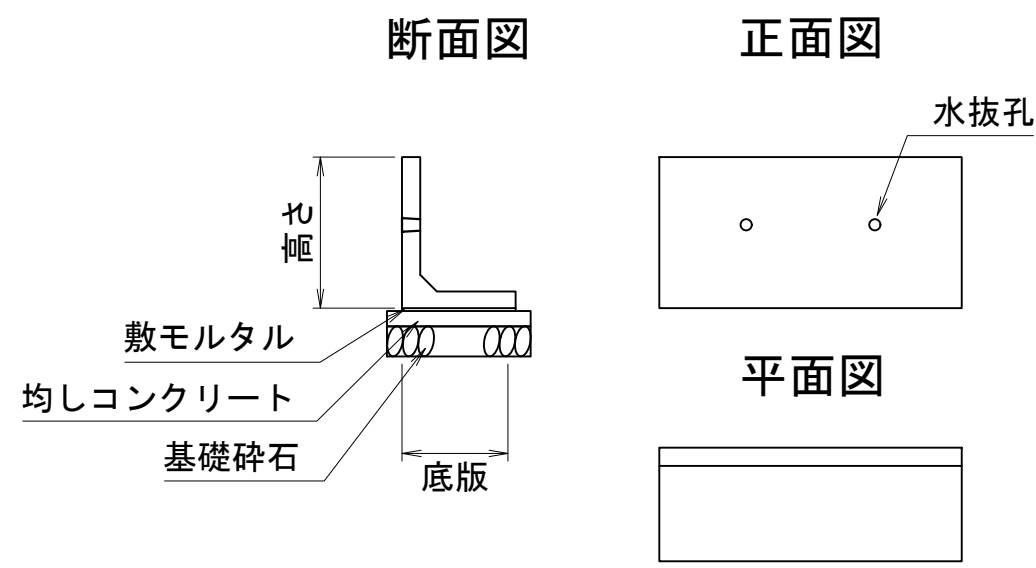
使用材料

敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

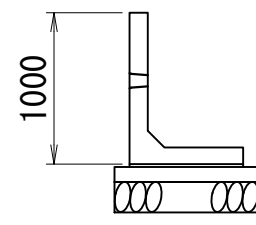
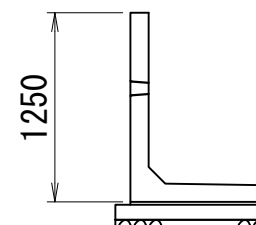
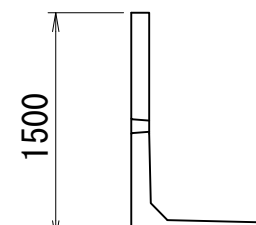
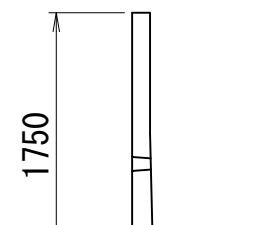
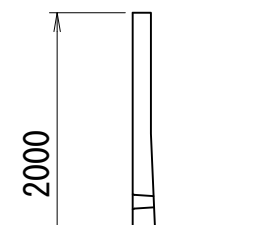
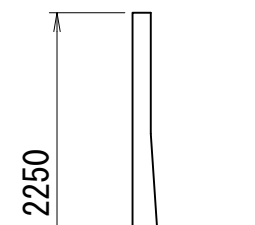
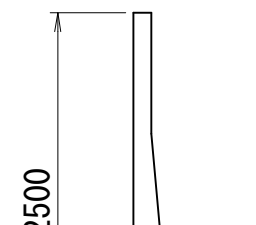
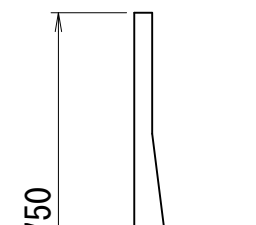
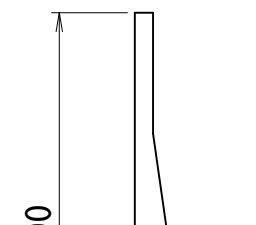
1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ（300程度）がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

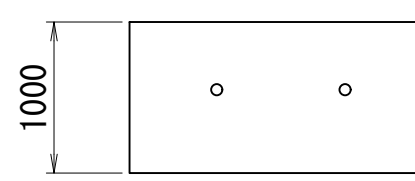
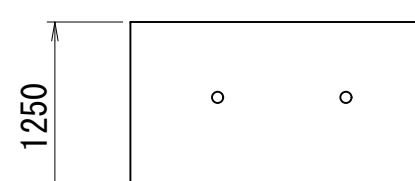
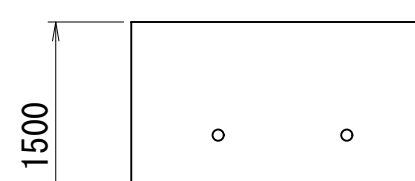
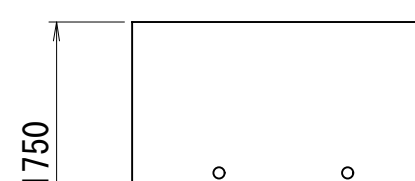
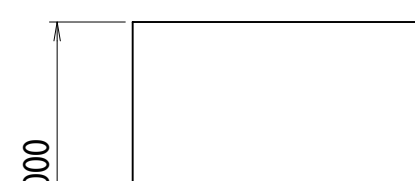
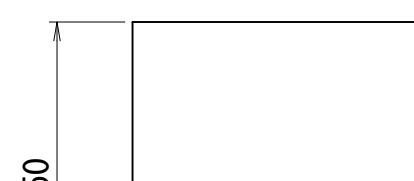
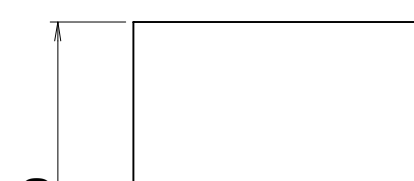
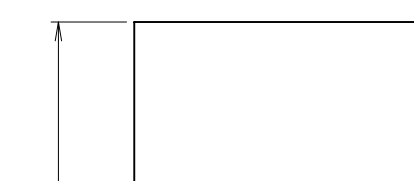
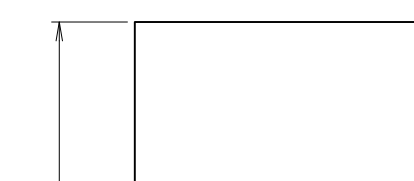
KLウォール3型E2テンプレート

A1 S=1： 50
A3 S=1：100



擁壁前面の根入れ高さ	45 c m以上かつ 擁壁高さの20%以上
------------	--------------------------

KLウォール3型E2 H=1000	KLウォール3型E2 H=1250	KLウォール3型E2 H=1500	KLウォール3型E2 H=1750	KLウォール3型E2 H=2000	KLウォール3型E2 H=2250	KLウォール3型E2 H=2500	KLウォール3型E2 H=2750	KLウォール3型E2 H=3000
								

KLウォール3型E2 H=1000	KLウォール3型E2 H=1250	KLウォール3型E2 H=1500	KLウォール3型E2 H=1750	KLウォール3型E2 H=2000	KLウォール3型E2 H=2250	KLウォール3型E2 H=2500	KLウォール3型E2 H=2750	KLウォール3型E2 H=3000
								

KLウォール3型E2 H=1000	KLウォール3型E2 H=1250	KLウォール3型E2 H=1500	KLウォール3型E2 H=1750	KLウォール3型E2 H=2000	KLウォール3型E2 H=2250	KLウォール3型E2 H=2500	KLウォール3型E2 H=2750	KLウォール3型E2 H=3000
